

第19回私立短期大学入試広報担当者研修会 第1分科会 研修報告書

育英短期大学
横浜女子短期大学

桂 健太郎
青木 真由美

メインテーマ：オープンキャンパスの充実と来場者増対策について

【Ⅰ 分科会の目標設定】

研修会全体の目標である「ニーズを捉えた入学者増につながる入試広報を考える」を意識しつつ、本分科会のテーマに沿った議論により、具体的な方策を検討する。

さらに、参加者が自大学における実際の募集活動について多くの気付きができる分科会運営を行う。参加者が研修会内容を自大学に持ち帰り、実際の募集活動に活かせる内容とし、研修会の成果が明確になるように努める。

【Ⅱ 分科会研修Ⅰでの実施内容（スケジュール）】

9月5日実施

14：45～17：15（150分）

14：45～15：00 ①分科会研修の運営等説明

②自己紹介（運営委員及び参加者）

15：00～15：20 ③講演と事例報告の整理・気付きについての意見交換

15：20～15：30 ④アンケート項目の整理

参加者から寄せられた課題について項目確認を行う。項目は以下の通り

◎OC広報活動

- ・効果的な広報ツール（WEB活用）
- ・動員増加に向けた具体的対策
- ・年間実施回数、開催日設定、事前申込方法（WEB活用）

◎OC設計・運営

- ・プログラム内容の公開、告知日
- ・テーマ、プログラム、タイムスケジュール等具体的な内容、実施方法
- ・学生スタッフの運営（募集、役割、研修方法）
- ・満足度を向上させるための施策や方法、実施例
- ・配布物（スケジュール、ノベルティ）、飲食提供の効果

◎その他

- ・参加者データ運用フロー、参加者フォロー、お礼状の有無
- ・予算をかけずに入学者を増やす方法
- ・出願率（歩留り）を向上させるための方法

15：40～17：00 ⑤アンケート項目[OC広報活動]に基づいた情報交換



※ 6名1グループとして6グループに分かれて実施

⑥ 6グループによる分科会内発表

⑦ アンケート項目[OC設計・運営]に基づいた情報交換

⑧ 6グループによる分科会内発表

17:00～17:15 ⑨ 参加者が持参したオープンキャンパス
のリーフレット、ノベルティ等供覧



9月6日実施

10:45～12:15 (90分)

10:50～11:10 ⑩ 桂運営委員から自大学の事例報告

11:10～11:55 ⑪ 「仮想短期大学のオープンキャンパスを考える」をテーマに議論

11:55～12:15 ⑫ 6グループによる分科会内発表

全体会のまとめ発表グループ選出

【分科会研修Ⅱでの実施内容（スケジュール）】

9月6日実施

13:00～13:15 ① 分科会研修の運営等説明

② 自己紹介（運営委員及び参加者）

13:15～13:20 ③ 【分科会研修Ⅰ】の議論・情報内容の共有

13:20～13:45 ④ 平松運営委員から自大学の事例報告

13:45～15:00 ⑤ アンケート項目[OC広報活動]に基づいた情報交換

※ 6名1グループとして6グループに分かれて実施

⑥ 6グループによる分科会内発表

⑦ アンケート項目[OC設計・運営]に基づいた情報交換

⑧ 6グループによる分科会内発表

【Ⅲ 分科会の総括】

参加者が、パネルディスカッションや事例報告の内容について相互に議論するとともに、自大学の抱える課題を忌憚なく意見交換することで、多くの気付きや具体的な情報を得ることができた。また、参加者同士の連帯感が生まれたことで学外のネットワークも広がり今後も活発な情報交換が期待できる。今後、参加者が自大学に持ち帰ろう、実際の募集活動に活かそうと考えた内容は下記の成果シートの通りである。

【Ⅳ 参加者の成果シート（まとめ）】

・学生が主体的にOCを進めていくことが大切だと思いました ・OCの流れのアイデアも得ることができました ・教職員がコミュニケーションを取りながら広報活動を行っていきたいと思います ・学内の職員教員がモチベーションを上げて情報共有して行うことも必要であると感じた ・ノベルティが参考になった ・保護者向け説明会にファイナンシャルプランナーを呼ぶというのが新しかった ・気付き、ヒント、参考とさせていただきたいことが多々ありました ・OC運営についてAM開催のメリットを知

ることができた ・特色、強みのピックアップの必要性 ・「伝えるのが仕事」という言葉、一方的に話すときもあったので見直そうと思う ・見聞が広まった ・OCの回数、優先順位など決して独自の考えだけで張り切るのではなく、高校、地域とのつながりを考え、高校生ファーストを忘れず広い視野で業務にあたる必要がある ・時期を考えたタイムリー且つスピーディーな施策を全部署へ通達し一丸となって臨みたい ・前向き、改革をしようとしている人も短大にいるんだなと感じることができた ・他短大のOCの売り、進め方など学ぶことができました。参考になりました ・保護者に受け入れられるプログラムを組まなければいけないことをあらためて知ることとなりました ・高校とのつながりを大切にす ・データ作成、分析、共有 ・広報業務をHPに重点させ紙媒体を減らす ・学校の規模は違えど、担当者の悩みは同じでいると感じ、少し安心した ・OC中にBGMを流す ・入試広報担当者の日頃の業務の熱意をテーマを考えることを通して感じるすることができた ・学内で意識を高めて広報戦略を考えていこうと思う ・皆さんのお話を聞いて同じような悩みの方、解決策、様々伺うことができ気持ちが晴れたようです ・「愛校心」と「ファン作り」大切にしたいと思います ・ブランディングの重要性 ・インスタなどより大学HPにもっと力を入れるべきだと感じる ・自分野の楽しいこと苦しいこと、自大学の楽しいこと苦しいことの再確認をしようと思った ・このような研修があることに感謝します ・SNSをもっと積極的に活用しようを思います ・入試担当者の悩みはみんな一緒 ・課題に対しての各短大の取り組みや対策について、大変勉強になりました ・多くの大学の事例を聞くことができた。持ち帰ってすぐにできることがたくさんあった ・高校訪問は信頼関係の構築が最大の目標だということを認識できた ・課題解決に向けたグループワークでよかった ・入試広報部門は教学部門と管理部門の接点である重要な役割 ・対高校生は相手目線でPRより寄りそいが大切 ・自分と同じ境遇に立っている担当者が多いことがわかり勇気が出た ・入試広報担当者あるいはその部門が魅力的であること ・人材を揃え楽しい雰囲気で働ける環境をつくることが大切であるということ ・自分の持ち帰るべき多くの情報を収集させていただきました。この情報をいかに活用できるのか実現できるのかが、今後の課題であると感じました ・専門学校への意識を改めていこうと思いました ・より短大が専門学校に負けない強みを学内で再確認する必要があると感じました ・自らが行ってきた入試広報についての考え方や姿勢を他の短大の方と共有できてモチベーションになりました ・改めて学内全体で同じ方向をみることが大切だと思いました ・学生・職員・教員の全てが愛校心をもてると良いと感じました